

加西市定住促進の方策について

一般質問



織部 徹 議員
(21 政会)

問 中国道泉バス停の駐車場ができて以来、高速バスの利用者がふえているように思う。

阪神間や大阪方面への通勤は、加古川駅や宝殿駅などへ自動車で行き、そこから電車で通う方法がある。しかし、営業の仕事をしていたりすると、飲酒の機会も多いため、そのまま自動車では帰ってこられず、通勤としては成り立たないこととなる。そこで、かわりに高速バスを利用することで通勤できるようになるのではないか。

現在、泉バス停の始発（6時40分）を利用した場合、千里ニュータウンから地下鉄で大阪の中心街といえる天満橋や谷町辺りまで行くと、大体8時30分ぐらいになり、8時始業の会社へは通うことができない。

大阪に通えるとなれば、ベッドタウンとして加西市に住むという人も出てくる。駐車場のある加西市役所やアスティアかさいを活用して、そこを午前5時40分ぐらいに出発し、泉バス停を6時前に通過することができたらと考えるのがいいか。

答 中国道泉バス停の利用状況は、平日には10～15台、休日にはほぼ満車を確認しています。高速バス利便性の向上と利用者増加につながり、効果があったと確信しています。

そして、加西発高速バスの始発を早くすることは、加西市に住みながら大阪方面への通勤を実現し、定住促進に大きな利点があると考えています。

問 アスティアかさいや加西市役所から、30分以上早い時間にバスを出すことを、市として要望していただけるかどうかお聞きしたい。

答 始発時間を早めるようにバス事業者へ要望することは、加西市にとっても大変メリットがあります。利用者の協力をはじめ、いろいろな方のお力添えを賜りながら、事業者への働きかけを行っていきたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・ 震災等による避難施設について

小中学校プール関係について、ほか

一般質問



原田 久夫 議員
(21 政会)

問 加西中学校プールの移設整備について。

答 場所的に誰が見ても好ましくないことに加えて、排水が近くの農家に迷惑をかけている状況です。プールの在り方検討会でも結論が出たため、早期に取りかからなければと考えています。

地震災害の対策について

問 地震対策、防災への取り組みについて。

答 防災対策は平時からの備えが重要であり、加西市地域防災計画及び水防計画を策定して

います。内容を随時更新するとともに、一番重要である職員の行動、避難所への即応対応についてマニュアル等を整備し、職員への認識を徹底しているところです。

問 救援物資、資機材備蓄状況について。

答 市役所、富合会館、消防署施設、善防公民館、南部公民館に備蓄しています。必要な物資全てを公共施設に確保するには、スペース的にも予算的にも難しいため、市内の民間事業者から協力を得て流通業者と協定を交わし、流通備蓄という形で確保しています。市役所でも今後予算を確保して増設していきますが、各家庭における自助努力が必要とされるところです。

問 鶴野飛行場跡地を、①市民の防災訓練場、②消防団の

訓練施設、③播磨総合防災基地として整備してはどうか。

答 飛行場跡地の北側を防災ゾーンとして、備蓄倉庫、飲料水の貯水槽、災害時のマンホールトイレ等を整備する計画です。また、提案いただいた、①市民の方の防災訓練場、②消防団の訓練場としての活用は十分できると思いますが、③広域的な防災基地としては、今後の課題として検討していきたいと思えます。

■その他の質問項目

- ・ 小中学校プール関係について
 - プールの在り方検討会について
 - プールの現状について
 - プールの維持管理について
- ・ 地震対策について
 - 避難所関係について
 - 避難施設耐震化について
 - 避難所運営計画について